

9月7日

## 北海道地方LPガス懇談会報告

～潮目が変わり、山が動く可能性へ～

9月7日(火)開催された北海道地方LPガス懇談会では、主に1. 料金透明化・取引適正化関連(経緯/概略/地域内行政連携状況/集合住宅料金問題、料金公表等料金の透明化に関する問題、アンケート調査報告等)をテーマに、この間明らかになった課題について行政・事業者・消費者による意見交換がなされました。

特に、6月1日(火)エネ庁・国交省との協議により発表された「賃貸集合住宅におけるLPガス料金の情報提供のお願い」は、消費者が入居前にその物件のLPガス料金を知る機会が与えられず、入居時の供給契約の際、事実上、消費者側にLPガス事業者を選択することができず、その料金を受け入れざるを得ない状態に対する行政による改善案であり、取引透明化への第1歩と言えます。更に、同一地域圏内でのガス料金格差の不透明さの原因となっている料金表に記載のないガス機器や関係のない付帯設備の償却費用を料金に上乗せしていることについても機器設備の料金の内訳を記載する旨も参考例として明示され、料金の透明性

確保の第1歩にもつながります。LPガス協会の幹部からも「今回の要請への対応を周知していること」「問題点の絞込みはできつつある、業界の縦割りでは進まない、横の連携が大切、話し合いを持つのは賛成」との発言もいただきました。

消費者側として北海道生協連からは、「不透明性の問題は調査活動のデータで立証され、行政・業界も認める状況に」「この問題が社会・消費者に対し周知が遅れている」「行政・業界・消費者の協働で先事例の推進・重要説明事項への法制化へ」の発言と要望を行いました。業界新聞でも「課題解決へ方向一致」と取り上げられました。

今後は、事業者・行政・消費者団体との「賃貸集合住宅におけるLPガス料金の情報提供の先事例づくり」に向けた懇談の場を要請するとともに、賃貸集合住宅入居時における実態(契約書・説明・手続き)の調査をすすめ、LPガス料金の透明性・取引の適正化に向け、引き続き取り組んでまいります。

## お知らせ! 協同組合ネット北海道事務局会議で取組確認 Vol.9

9月8日(水)13時～16時 コロナ感染緊急事態宣言期間という事もあり、学習会及び事務局会議は実開催からWEB会議に変更し開催されました。  
事務局団体: JA中央会・ホクレン・コープさっぽろ・労金・漁連・森連・ワーカーズコープ・道生協連  
以上8団体。

### <学習会>

学習会タイトル『こども食堂の現状と課題について』  
講師: こども食堂北海道ネットワーク 松本事務局長

### <協議事項>

#### 1. 共通推進テーマ

- (1) 地域社会づくり(社会貢献活動) <生協連>
    - こども食堂支援活動の進捗状況について
    - ほっかいどう若者応援プロジェクト、上期報告と下期活動計画について
    - ゆる元指導員講習会開催について
- \* 9月9日(木)に19都道府県の緊急事態宣言の延長(9月30日まで)決定を踏まえ、今年度の講習会は中止とし、次年度春開催へ変更。

#### (2) 環境対策 <コープさっぽろ・ホクレン・漁連>

- 植樹活動への参加、海や川の清掃活動の取り組みについて
  - 海のクリーンアップ大作戦について
  - 第6回SDGs研究会の案内について
- #### (3) 災害支援対策 <ろうきん>
- 災害支援対策について

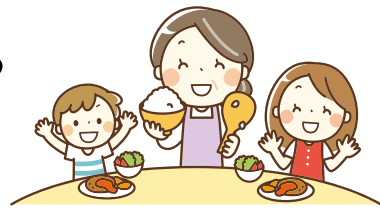
#### 2. 個別推進テーマ

- (1) 公開講演会の開催について(案) <ろうきん>
  - (2) 令和3年度協同組合間学習交流会の開催について
  - (3) 幹事会の開催について
- \* 開催日時: 10月21日(木)で開催 13:30～15:00

#### <その他、報告事項>

- (1) 「労働者協同組合法」法制化記念フォーラム第5回実行委員会報告の開催について
- (2) 第4回都道府県協同組合連携組織全国交流会議の開催について
- (3) フードパントリーの取り組みについて
- (4) 第3回協同組合地域共生フォーラムの開催について

# 協同組合に支えられ広がる 「こども食堂」の輪！



2017年6月からスタートした「こども食堂北海道ネットワーク」の活動も5年を経過し、現在は道内約190ヶ所の運営団体中86ヶ所の子ども食堂・地域食堂が集うネットワークに成長しました。



札幌市内は90%を超える結集状況になっており、札幌市子ども未来局との連携も「ガイドbook」「共同イベント」などで一層強い信頼関係が生まれております。この5年、支えてくれた道生協連をはじめJA中央会様、労金様、全労済様、労福協様、市社協様には心から感謝申し上げます。現在はコロナ禍にありますので小さい単位での「学習交流会」「物資支援」等を軸にネットワーク活動を途切れる事のない様、腐心しております。



## 「8トンのゆめぴりか」を子ども達に！届ける！

このコロナ禍の下、JA中央会様をはじめホクレン様やネットワークが連携して国の助成事業を活用した「お米の普及活動」が8～9月にかけて展開されました。道内約190ヶ所の子ども食堂・地域食堂に企画案内を行い約80団体からの利用申し出、約8トンのゆめぴりかの利用につながりました。ネットワークに入会している運営団体は約70%の利用となっ



ており口頭での丁寧な説明が加わる事で更なる利用普及につながるであろう手応えを感じたこの夏の共同活動になりました。JAグループ様本当に有難うございました！



## ウィズコロナを見据えて！

今年の特徴として格差拡大や困窮の深刻化を背景にした若い世代による子ども食堂の立ち上げが増えております。熱い思いを持ったスピード感のある「開設」が思いがけない事故等につながらない様、開設前の聴き取りやアドバイスをさせて頂く機会を大切にしております。とりわけ安全衛生問題にはしっかりとした「ルール」の「共有」



で子ども達に悲しい思いをさせる事が無い様、特段の留意をお願いしています。機会をみつけて「宅配」等に関する勉強会も企画しようと考えております。同時に「マスク」「ゴム手袋」「手指消毒剤」「アクリル板」「検温」の徹底を併せて運営者さんをお願いしていきます。今後ともご指導方、宜しくお



願い致します。